

令和3年度東部地区道徳教育研究協議会

加須市立騎西中学校

【B部会（3学年）】

主 題 名 法やきまりの意義
内容項目 C 遵法精神、公德心
教 材 名 「二通の手紙」
(日本文教出版「あすを生きる3」)



ネームプレートの活用



タブレットを使つての意見交換



タブレットを使い学びを深める工夫

1 指導講評

【①アンケートを活用した導入について】

- 生徒のアンケートの内容が素直に書かれていてよい。
- アンケートの結果を生徒に示す際に、書いた生徒に理由を聞いて進めたが、素直に言える生徒とそうでない生徒がいる。生徒をよく理解しているから指名できたのだろう。指名された生徒がよく考えていたおかげで教材につながった。
- アンケートの結果を提示した後、今日はみんなでこのテーマを考えていこうの方がよかった。

【②ネームプレートを用いた意見交換について】

- 思いやりときまりで葛藤しているようにとらえているが、きまりを守ることも思いやりである。
- ネームプレートを貼る位置で入園させたことに賛同するしないという2つの行為だけにならないところがよかった。「入園させるけど迷いながらです。」とか「入園させません。でもかわいそうだな。」というところを話し合わせたい。
- 境界線に近いところに貼った生徒に意見を聞くとさらに深まった。

【③タブレットを用いた意見交流・話し合い活動について】

- タブレットに興味をもっているし、何か書こうと主体的に取り組むツールになっていた。
- 一斉に見ることができるところなど活用するメリットがあった。色分けできるなら似た色の人同士や、違う色の人同士で話し合うこともでき、考えを深めることになるのではないかと。

【④その他】

- つぶやきが多いのは、何でも言える、安心して言える学級だと思う。聞くときと話すときのメリハリをつけられるとさらによい。
- 先生に叱られるからきまりを守るという他律的なとらえから自律的なとらえにつなげていくことが大事である。
- 条件・状況等を丁寧におさえるとよい。
- 授業の構想は、ねらいがあって、付けたい力のための教材があって、そのための工夫をすることである。中心発問は一番生徒に考えさせて、一番揺さぶってねらいにつなげるところである。

